新庁舎の使い方について

資料２－４

	項目	千葉市の新庁舎の使い方 バックオフィス的 ←→ フロントオフィス的	事例
建物	可変性 変化への対応性	○フレキシビリティのあるレイアウトが取れる庁舎 （奥行の大きい開放的な基準階フロア） ⇒行政組織の変更や業務形態の変化に対応	【町田市役所】 奥行の大きい基準階フロア・ユニバーサルレイアウト
	保全性 経済性	○メンテナンスに費用のかからない庁舎 （バルコニーの設置等） ⇒外装の清掃やメンテナンスに配慮【非常時の避難経路や庇としても活用】	【秋田市役所】 バルコニーの設置
	利便性 機能性	○本庁舎の業務がワンストップで対応できるような庁舎 （窓口対応の多い部署の集約）⇒来庁者の利便性に配慮 ○誰にでもわかりやすい庁舎 （大きくわかりやすいサインの設置）⇒来庁者の利便性に配慮	【甲府市役所】 窓口対応の多い部署の集中配置 【甲府市役所】 大きくわかりやすいサイン・総合案内の設置
	環境先進性	○自然エネルギーの活用に配慮した庁舎 （自然採光、自然換気、雨水利用等）【非常時の業務継続性や経済性にも対応】	【甲府市役所】 自然採光、自然換気、雨水利用等
	安全性 防犯性	○来庁者の動線に配慮した庁舎 （セキュリティラインの設置）【帰宅困難者の受け入れにも対応】	【甲府市役所】 執務室フロアのセキュリティラインの設定
	構造安全性	○構造の強い庁舎 （免震・制振等の検討）⇒地震・揺れやすさへの対応	【秋田市役所】 免震構造の採用
	災害安全性	○災害対策本部が中層階にある庁舎 （重要諸室の配置方法の検討）⇒高潮等への対応	【秋田市役所】 浸水被害に備えて重要諸室を上層階に配置
	防災拠点性	○非常時に向けたスペース・設備等が確保された庁舎 （災害対応スペース・設備等の整備）【帰宅困難者の受け入れ、自然エネルギーの活用にも対応】	【秋田市役所】 非常時を想定した設備・スペース等の整備
	業務継続性	○非常用電源や給排水機能を備えた庁舎 （業務継続機能の整備） 【雨水利用等により自然エネルギーの活用にも対応】 ○帰宅困難者の受け入れができる庁舎 （一時避難場所の確保） 【セキュリティラインの設定にも対応】	【習志野市役所】 業務継続機能の整備